

平尾貴四男 《弦楽四重奏曲》

復元楽譜 & CD 発売記念コンサート

「**幻**の作品」との出会い。そして、感動をもう一度。

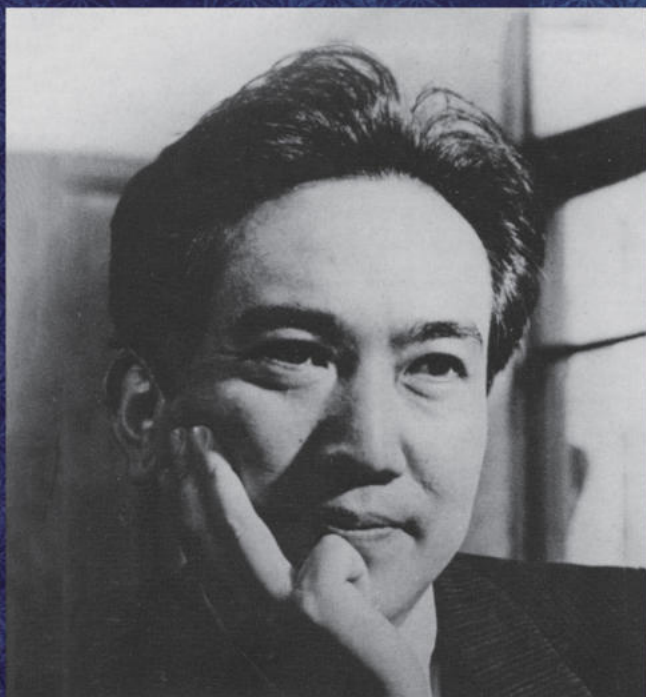
2026年 5月 7日 (木)

昼公演 14:00 開演 / 13:30 開場

夜公演 19:00 開演 / 18:30 開場

ルーテル市ヶ谷ホール

(有楽町線 市ヶ谷駅より徒歩 4分)



出演：島根恵 (1st Violin)、山本佳輝 (2nd Violin)、中村翔太郎 (Viola)、島根朋史 (Cello)

平尾貴四男 《弦楽四重奏曲》 (全4楽章)

※ 東京大学名誉教授 長木誠司氏の研究によってライブツィヒ・ドイツ国立図書館で近年発見された、デッサウ弦楽四重奏団の演奏によるレコード (1941年録音) を元に、2024~25年復元。2026年CDリリース、楽譜出版。

【復元版制作】採譜：島根恵 [代表]、島根朋史、山本佳輝、中村翔太郎、諸岡典経、辻由樹 監修：高橋裕

ヴァンサン・ダンディ 《弦楽四重奏曲 第2番》ホ長調 作品45 (全4楽章)

全席自由 (当日券 +500円)

一般 4,500円 / 学生 2,500円 (席数限定)



チケットご予約は、Teketにて

← QR / URL: <https://teket.jp/15857/62005>

または、ムジカキアラお問い合わせまで

主催：ART OFFICE SS

後援：日本作曲家協議会

東京藝術大学音楽学部同声会

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会

一般社団法人日本弦楽指導者協会

平尾貴四男記念生涯学習センター

マネジメント協力：ムジカキアラ

【お問い合わせ先】 info@musicachiara.com | Tel: 03-6431-8186 (平日10:00~18:00 / ムジカキアラ)

フランスに留学し、フランク、ダンディの系譜で
日本音楽を昇華させた作曲家、平尾貴四男。

1940年、日本作曲家連盟第1回室内楽賞 受賞の
《弦楽四重奏曲》は、戦禍により楽譜が失われ、
幻の作品として語られてきました。



1年以上の歳月をかけて行われた楽譜の復元作業がついに完結。昨年催した「復元版 世界初演」から
更なるブラッシュアップをかけてセッション・レコーディングされた CD (コジマ録音, ALM-9283)、
完成された楽譜 (音楽之友社) が、ついに発表されます。発売記念公演、どうぞご期待ください！

平尾貴四男 (Kishio HIRAO, 1907-1953)

日本の作曲家。慶應義塾幼稚舎、普通部を経て慶應義塾大学医学部に進学するが、後に文学部独文科に転じ、1930年に卒業。在学中からラウト
ルupp氏にピアノ、弘田龍太郎氏に和声学を学び、さらにソルフェージュ、音楽理論をヴァンサン・ダンディ門下の大沼哲氏に師事した。1931年
フランスへ渡り、パリのスコラ・カントルム、後にセザール・フランク音楽学校にてヴァンサン・ダンディの高弟であるギユイ・ド・リオン
クール氏に作曲を師事。1936年帰国。1940年に《弦楽四重奏曲》を作曲し、5月に明治生命ホールにて初演。同年「日本作曲家連盟」で第1回
室内楽賞を受賞し、1941年には「日独協会」主催「日本室内楽の夕べ」に選ばれ、ドイツのデッサウとベルリンで公開演奏された。同年デッサウ・
カルテットによる演奏がグラモフォンにより録音され、ライプツィヒの国立図書館に所蔵されていたが、近年奇跡的に発見されるまで、録音が
残されていたことを知る者はいなかった。1949年「日本現代音楽協会」第三代委員長就任。フランス音楽と日本音楽を平尾貴四男一流の技法で
融合させた作品を数多く発表した。46歳の若さで惜しまれながら逝去した。弟子に富田勲、宇野誠一郎、一柳慧がいる。

Megumi SHIMANE / 1st Violin 島根恵

東京都出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽
科を卒業後、桐朋音楽大学音楽学部研究生を修了。1981年第8回ヴェニ
アフスキ国際ヴァイオリンコンクールに入賞。1987年第2回日本モーツァ
ルト音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝。これまでにヴァイオリンを
海野義雄、江藤俊哉、久保陽子、兎東龍夫、広瀬八朗、母島根育の諸氏に、
室内楽を黒沼俊夫氏に、和声学を松村禎三氏に師事。2013～18年までJ. S.
バッハについて、オランダのチェリスト、アンナー・
ピルスマ氏に師事。後進の指導のほか、音源の少ない
学習者向けの楽曲やヴァイオリン協奏曲をピアノ伴奏
でCDにすることを主な活動としている。平尾貴四男の
初孫、辻田樹が夫。



山本佳輝 Yoshiki YAMAMOTO / 2nd Violin

兵庫県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学を経て、同
大学院修士課程修了。大学内にて福島賞、アカンサス音楽賞受賞。第89回
読売新人演奏会、プロジェクトQなど多数出演。新日本フィルハーモニー
交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団とソリストとして共演。第8回
横浜国際音楽コンクール高校の部第1位。第86回日本音楽コンクール作曲
部門にてアンサンブルリームとして出演し、コンクール委員会特別賞を
受賞。第28回芥川作曲賞選考会にソリストとして出演。
近年は古楽器奏者としての活動も精力的に行っている。
これまでにヴァイオリンを原田幸一郎、石井志都子、
漆原朝子、篠崎史紀の各氏、バロックヴァイオリンを
戸田薫氏に師事。東京シティ・フィルハーモニック
管弦楽団ヴァイオリン首席奏者。

Shotaro NAKAMURA / Viola 中村翔太郎

兵庫県出身。4歳よりヴァイオリンを始め、2005年、
東京藝術大学附属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。
2010年、第15回コンセル・マロニエ21弦楽器部門
第1位。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、ヴィオラ
スペース、リゾナーレ室内楽セミナー等でマスタークラスを受講。リゾ
ナーレ室内楽セミナーでは基金「緑の風」音楽賞受賞。2011年9月に栃木県
交響楽団と、翌年2月に藝大フィルハーモニアと協奏曲を演奏するなど、
ソロ・室内楽の分野において数々の演奏会に出演。平成23年度優秀学生
顕彰優秀賞受賞。学内において、同声会賞、アカンサス音楽賞、三菱地所
賞受賞。東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。東京藝大の同期に
よる弦楽アンサンブルTGS代表。ヴィオラを百武由紀、川崎和憲の各氏に
師事。東京藝術大学卒業、現在NHK交響楽団ヴィオラ首席奏者。



島根朋史 Tomofumi SHIMANE / Cello

東京都出身。音楽博士、現代/歴史のチェロ、
ヴィオラ・ダ・ガンバを操る三刀流奏者。東京藝術大学
にて博士号(音楽・チェロ)取得。研究は17～19世紀の
奏法史と楽譜読解。同声会賞、大学院アカンサス賞受賞。
サティ音楽院(パリ)修了。古楽オーケストラ La Musica Collana 首席、
サブディレクター。バッハ・コレギウム・ジャパン、木心トリオなどメン
バー。NHK「ららら♪クラシック」、NHK-FM「リサイタル・パッショ」に
出演。2枚のソロCDは新聞、音楽雑誌などの推薦盤、注目盤などに選出され
ている。訳・解説・校訂の著書に『デュボール チェロ奏法と21の練習曲』
(音楽之友社)がある。昭和音楽大学講師。近年は国際古楽コンクール山梨、
印西国際音楽コンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクールなど
国内外数々のコンクール審査員を務める。平尾貴四男のひ孫に当たる。

会場：ルーテル市ヶ谷ホール (東京都新宿区市谷砂土原町1-1/有楽町線市ヶ谷駅より徒歩4分)
お問い合わせ先：「ムジカキアラ」 info@musicachiar.com & Tel.03-6431-8186 (平日10:00～18:00)